



「越後妻有 2025 夏秋」を開催します

越後妻有の夏秋の魅力を発信する「越後妻有 2025 夏秋」を開催します。

1 開催期間

7月19日（土）から11月9日（日）祝日を除く火水定休

※お盆期間の8月12日（火）、13日（水）は平日扱いで開館

※開館日や企画展の開催日は施設によって異なります。

2 プログラムの概要

（1）開館作品

- ・MonET、農舞台、奴奈川キャンパス及びアケヤマ等の大地の芸術祭拠点作品の他、人気作品の開館

（2）オフィシャルツアー

- ・毎週土日祝は越後湯沢駅発着のオフィシャルバスツアーを運行

（3）イベント

- ①越後妻有かぶかぶ楽団公演/岡淳+音楽水車プロジェクト：越後妻有「上郷クローブ座」
- ②大地の運動会：奴奈川キャンパスグラウンドにて9月20日（土）開催

（4）企画展

- ①越後妻有里山現代美術館 MonET回廊

「こたえは風に吹かれている」

ディレクション：BankART1929

参加作家：松本秋則、山本愛子、井原宏路、牛島達治

- ②鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館

「こんとん」

参加作家：田島征三、中里繪魯洲、石ヶ森由行(クマイキレ)

- ③香港ハウス

「石の囁き」

参加作家：ホンヒム&アーシム

(5) アーティストワークショップ

①アケヤマ ー秋山郷立大赤沢小学校ー

「山のくらしの技術や知恵を学ぶワークショップ」

参加作家：深澤孝史、井上唯

②まつだい「農舞台」フィールドミュージアム

「空想おしばな作り」

参加作家：今村文

③奴奈川キャンパス

企画展と合わせて、作家によるワークショップを実施予定

参加作家：大川友希

3 共通チケットの販売について

・会期中公開する作品を鑑賞できる共通チケットを販売します。特典として、共通チケット提示で清津峡溪谷トンネル《Tunnel of Light》の事前予約不要、十日町市博物館の入館割引など。

※一部作品は別途チケット購入が必要

料金：一般2,500円、小中1,000円、小学生未満無料

※チケットは芸術祭関連施設や観光案内所のほか、オンラインでも販売します。

4 その他

・十日町市、津南町の小中学生には共通チケット（小中）を無料配布します。

5 添付資料

・「越後妻有 2025 夏秋」

■お問合せ先

十日町市文化観光課 芸術祭企画係

担当：瀧澤、富田 ☎025-757-2637（内線517）

越後妻有 2025 夏秋

▼実施概要

会期：2025年7月19日（土）～11月9日（日）

※祝日を除く火水定休（8月12日、13日は営業）

開催時間：10:00-17:00（10・11月は10:00-16:00）

※各作品によって公開日・公開時間が異なる場合あり

主催：大地の芸術祭実行委員会、NPO法人越後妻有里山協働機構、
独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

▼共通チケット概要

料金：一般2,500円／小中学生1,000円／未就学児無料



販売開始

- ・現地は7月19日（土）より実券販売）
- ・オンライン6月20日（金）よりasoview!にて販売（通年期としては初めて）

有効期間：2025年7月19日（土）～11月9日（日） ※会期中のみ有効

共通チケット提示特典

- ・十日町博物館：100円引き（1回のみ）
- ・明石の湯：100円引き（何回でも）
- ・期間中の共通チケット対象施設2回目のご利用が入館料半額

共通チケット対象外施設（提示割引）

- ・清津峡溪谷トンネル《[Tunnel of Light](#)》：入坑料一般600円、小中学生100円引き
- ・《[JIKU #013 HOKUHOKU-LINE](#)》：鑑賞料一般・小中学生ともに100円引き
- ・《[越後松之山「森の学校」キョロロ](#)》：入館料300円引き

▼開館作品

7/19（土）-11/9（日）公開 ※火水定休

越後妻有里山現代美術館 MonET、鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館、まつだい「農舞台」、光の館（無休）、まつだい郷土資料館、手をたずさえる塔、松代城、奴奈川キャンパス、最後の教室

7/19（土）-11/9（日）の土日祝公開

家の記憶、アケヤマ ー秋山郷立大赤沢小学校ー、うぶすなの家、黄金の遊戯場、磯辺行久記念 越後妻有清津倉庫美術館 [SoKo]、越後妻有「上郷クローブ座」+香港ハウス（7/19（土）-8/31（日）は火水定休）

7/19（土）-8/31（日）の土日祝公開

枯木又プロジェクト、時の回廊 十日町高倉博物館、もうひとつの特異点、Kiss & Goodbye、妻有アーカイブセンター、ブランコの家、静寂あるいは喧騒の中で／手旗信号の庭、32 Resting Stones／三二と休石（中崎透）、夢の家

不定期開館

楽暮 D.I.Y.の家 iju

▼オフィシャルツアー

会期中毎週土日祝は越後湯沢駅発着のオフィシャルバスツアーを運行。

- ・夏・秋のエチゴツマリコース：毎週土日祝
- ・秘境 秋山郷コース[上郷ランチ便]：7/19(土)~8/31(日)の毎週日曜日中心
- ・秋のエチゴツマリコース[うぶすなランチ便]：9/1(月)~11/9(日)の毎週日曜日中心
- ・北川フラムと巡る越後妻有の旅〈秋〉：9/14(日)限定
- ・越後妻有の林間学校ツアー2025：全6回実施予定



▼イベント

- ・越後妻有かぶかぶ楽団公演／岡淳＋音楽水車プロジェクト：9/7(日) 14:00開演(13:30開場)
- ・大地の運動会：9/20(土)



▼企画展

- ・越後妻有里山現代美術館 MonET

回廊企画展「こたえは風に吹かれている」7/19(土)~11/9(日)

BankART1929ディレクションによる複数の作家の企画展を開催。池を中心に、音を奏でる作品や風に誘われてそよぐ作品などによってオーケストラのように一体化した空間として創出する。

夜のライトアップや、作家によるワークショップも開催予定。



・鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館

企画展「こんとん ぼくの大すきなアーティストたちとの展覧会です。」 7/19(土)～11/24(月)
田島征三が信頼を寄せる3名のアーティストと織りなす合同企画展。戦争やパンデミックなど様々なできごとが〈混沌〉としているこの世界で、アーティストとして希望をもたらしていくことができるのか？

・香港ハウス

企画展「石の囁き」ホンヒム & アーシム

越後妻有で、私たちは語る石を見つけました。《石の囁き》は、日本の禅の庭園の音響楽器である水琴窟と獅子おどしをベースに、石と広東磁器の壺を通して共鳴するサウンドスケープの作品です。このコンセプトは、紀元前534年、周の晋の時代の古語にある「しゃべる石」の話に由来します。この物語では、言葉では伝えられないメッセージを伝える比喩の象徴として石が登場します。2500年以上の時を経て、越後妻有で発見された「しゃべる石」は、今観客を「石の囁き」の物語に誘います。



▼アーティストワークショップ

・アケヤマー秋山郷立大赤沢小学校ー「山のくらしの技術や知恵を学ぶワークショップ」

今年も継続して秋山郷でのリサーチ活動が続ける二人の作家とともに、山を学ぶことができるイベントを多数開催します。



・まつだい「農舞台」フィールドミュージアム

「空想おしばな作り」今村文

おはなを描く今井さんと一緒に、里山の植物を空想のおしばなにします。フィールドミュージアムでの植物採取の後、スケッチをし、形に沿って切り取ったあと台紙に張り付けつことで不思議な感覚のおしばなが出来上がります。



・奴奈川キャンパス

企画展とあわせて、作家によるワークショップを実施予定

その他、食・宿泊施設でも季節にあわせたプログラムを実施するほか、各施設ではワークショップやイベントを随時計画中。

